

## 2008年（平成20年）度第4回常務理事会記録

日時：2008年（平成20年）9月6日（土）14:00~16:30

場所：東京大学医学部教育研究棟2階 第1セミナー室

出席者：柴田洋三郎（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、藤本豊士（以上、常務理事）、内山安男（オブザーバー）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、川村知子（以上、口腔保健協会）

### I. 会議記録の確認

2008年（平成20年）度 第3回常務理事会記録、同摘録（案）

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

##### （1）会員異動報告（正会員 2,114名、平成20年8月31日現在）

平成20年6月分（入会者 正会員 21名、学生 9名、退会者 正会員 12名、学生 3名）

平成20年7月分（入会者 正会員 5名、学生 12名、退会者 正会員 13名）

平成20年8月分（入会者 正会員 9名、学生 2名、退会者 正会員 4名）

逝去会員：

桐野忠大氏（東京医科歯科大学元教授／名誉会員）平成20年7月9日逝去（享年93歳）、

清水 澄氏（東京医科大学准教授／学術評議員）平成20年6月7日逝去（享年61歳）、

酒井 恒氏（名古屋大学名誉教授／名誉会員）平成20年8月1日逝去（享年80歳）、

新井良八氏（滋賀医科大学教授／学術評議員）平成20年8月25日逝去（享年53歳）、

##### （2）近畿支部選出理事選任の書面表決実施結果

投票総数 1976、回収 1024（投票率 52%）で、第1号議案（議長選任）賛成 1024、反対 0、第2号議案（議事録署名人選出）賛成 1023、反対 1、第3号議案（近畿支部理事選任）賛成 1023、反対 1で、すべての議案について提案が承認されたことが報告された。

##### （3）名簿作成について

会員名簿作成用アンケートの9月5日現在の回答回収率（関連講座・教室：82.2%、個人宛：59.2%）が報告された。

##### （4）倫理委員会外部委員

外部委員として、医師免許を持ち病理医で、かつ弁護士としての活動もおこなっている東京の加治一毅氏に依頼し、本人の同意も得られたことが報告された。

(5) ホルマリン規制について

「大学医学部・歯学部の系統解剖実習室・処置室におけるホルムアルデヒド対策に関する提言書」を、解剖学会として文部科学省医学教育課長宛に提出したこと、および厚労省小検討会における審議の途中経過について報告があった。

(6) 基礎医学の危機アンケート依頼

日本生理学会との合同で実施している標記アンケートの回収状況と提出のない教室に対しては再送するとともに、締め切りを9月末まで延ばすことが報告された。

(7) 学会宛文書等

①通知・依頼 厚労省労働基準局安全衛生部化学物質評価室より「平成20年度化学物質による労働者の健康障害防止に係るリスク評価検討会の「第2回、第3回、第4回少量製造・取扱いの規制に係る小検討会」の開催周知依頼」他20箇所23件の通知・依頼が届いている。

②書籍、定期通信他 日本医学会より「JMAJ Vol51 No3」他4箇所4件の書籍、定期通信等が届いている。

(8) 公益法人改革

第3回法人化対策ワーキンググループの検討結果、および日本学術会議主催の「新法人法への対応シンポジウム」について説明がおこなわれ、先行事例を参考にしつつ、非営利型一般法人を選択する方向を考えていくことが報告された。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

両誌の第83巻3号の刊行について報告があった。

3. 企画・渉外報告（岡部企画・渉外担当兼任理事）

(1) 平成20年度技術士資格試験

9月20日（土）鶴見大学歯学部において、応募者3名で実施されることが報告された。

(2) 平成21（2009）年度総会・全国学術集会準備状況

標記総会・全国学術集会の準備状況に関する報告があった。なお、名誉会員の中にはインターネットの利用環境にない方もおられるので、旅行案内の取り扱いについては考慮の余地があるとの意見が出された。

(3) Anatomische Gesellschaft（AG）との交流について

河田海外交流委員会委員長より連絡があり、来年度（日本から人を派遣する予定の年度）のAG総会が、岡山での総会・全国学術集会の日程と重なっていることが明らかになった。対応案を協議した結果、来年度は別の時期に何らかの方法で交流をおこなうことが決定された。

(4) 2012(平成24)年度総会・全国学術集会担当校

開催を希望する大学について報告があり、地域性、過去の開催歴等を勘案し、関

係者とも協議した上で決定するとされた。

#### 4. 会計報告（牛木会計担当理事）

##### （1）平成 20 年度中間決算書

標記中間決算書について報告がおこなわれた。

### III. 審議事項

#### 1. 新入会員の承認

資料をもとに審議がおこなわれ、58 名の新規入会者希望者全員について承認された。

#### 2. 教授就任による学術評議員審査

1 件の申請について審議がおこなわれ、承認された。

#### 3. シュプリンガーとの ASI の契約

シュプリンガーと交わす契約書、およびブラックウェルからの移行に伴う問題点（Online Early 論文への対応）について審議がおこなわれた。

#### 4. 次年度以降の解剖学雑誌について

今後の発行形態、年間発行計画に関する編集委員会案が提出され、承認された。

#### 5. 役員選挙について

2009・2010 年度役員選出選挙に関する予定、手続き等が審議され、承認された。

#### 6. 人体の不思議展について

「「人体の不思議展」に疑問をもつ会」より要望書が届いた。解剖学会では「人体の不思議展」には関与していないことを支部長を通じて会員に周知するとともに、理事会においても注意を喚起することが決定された。

#### 7. 常務理事会・理事会の日程の確認

次回常務理事会および理事会は予定通り 12 月 20 日（土）に開催することが確認された。

#### 8. その他

##### （1）米国解剖学会（AAA）への対応

APICA 参加等の今後の対応については海外交流委員長より、AAA の Burr 会長に連絡がなされているとの報告があった。

##### （2）IFAA への対応

ルーマニアでおこなわれる IFAA の会合に解剖学会からは牛木常務理事、内山前企画・渉外担当理事の 2 人が河田海外交流委員長と打ち合わせをおこなったのち、出席することが決定された。

##### （3）Anatomische Gesellschaft の Baumgart-Vogt 会長よりの要請

EU でマクロ教育の大学院コースの共同カリキュラムを作る予定なので、日本解剖学会からも評価委員を出して欲しいとの要請があった。審議の結果、基本的には同意することになった。